

**県立安芸津病院耐震化対応基本構想・基本計画策定支援業務
公募型プロポーザル選定委員会（第2回）議事録（議事要旨）**

項 目	内 容
1	日 時 令和6年3月15日（金） 15時から18時35分まで
2	場 所 オンライン
3	出席委員 県立安芸津病院長 病院事業局事務部長 県立安芸津病院外科主任部長 県立安芸津病院看護部長 県立安芸津病院事務長 県立安芸津病院消化器内科主任部長 健康福祉局医療機能強化推進課政策監 一般社団法人広島県医師会常任理事
4	議 題 企画提案内容の審査及び最優秀提案者の決定について
5	担当部署 病院事業局県立病院課
6	開催方法 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">1 参集（オンライン）</div> 2 持ち回り
7	議事内容 審査は提案書及びプレゼンテーションの内容により、各選定委員が審査表に基づき採点した。 得点の最も高かった事業者を選定することに選定委員からの異論はなく、業務予定者を(株)麻生 病院コンサルティング事業部に決定した。 なお、プレゼンテーション時の質疑応答の概要は次のとおり。（●：選定委員 ○：事業者） 【株式会社麻生 病院コンサルティング事業部】 ●：御社の取組により受療動向が変わり、地域の中での病院の位置付けが変わり、患者が増えたような具体的な事例はあるか。 ○：病院が強みとしている疾患についてPR素材と一緒に作成し、地域の開業医に渡して回ったり、救急から患者を取り込むため、院内の救急体制の見直しを行うなどの支援をしている。 ●：データや一定のエビデンスに基づいて取組や建替え規模などを決めていくことが大切だと思うが、例えばレセプトやDPCを用いた分析を行った事例はあるか。 ○：他の業務実績として、県内でもそういった分析などは既に実施している。 ●：現時点で、新築移転や現地建替えに関する経費面のメリット・デメリットはどう考えているか。 ○：現地建替えは非常に制約が多く、コスト的にも期間的にも、用地を別の場所に設けて建替えを行う方が一般的にはメリットは大きいと考えている。 【株式会社都志デザイン】 ●：旧棟を耐震化するという提案だったと思うが間違いはないか。 ○：耐震技術・補強技術は非常に進歩している。壊さなくて済むのであれば有効利用していく方がよいのではないかと提案である。

		<ul style="list-style-type: none"> ●：旧棟がスペースの問題で不要となった場合、騒音なく解体できるという話について、もう少し丁寧に説明してもらいたい。 ○：現在は、ドリルで薬剤をコンクリートに注入して解体するというのが主流になってきている。耐震補強についても、音を立てないで補強を行うことができる。治療に影響を与えない解体や補強を提案していきたい。 ●：単なる建替えではなく、病院のあるべき姿を描くことが建物を検討するベースになると思うが、データを用いた分析は現場に任せるようになるのか。 ○：病院の方針があると思うのでそれに従い、我々はハードの施設を検討していきたい。分析は我々の専門ではなく、新たに調査をすることは考えていない。調査が必要であれば、どういった調査が必要かを検討して、専門家をお願いするような手段をとっていきたい。 <p>【株式会社日本経営】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●：提案には色々盛り込まれていたのですが、重要なポイントがよく見えなかった。 ○：公表データを見る限りでは、病床規模は 60 床規模前後とし、一般急性期病床＋地域包括ケア病床とすることが可能性としては高いと考えている。今の情勢を踏まえると、全部建替えは比較的厳しく、新築か改修か、1 看護単位とするか否かが肝になると考えている。 ●：安芸津病院の将来像を考える中で、具体的にどういったデータ、エビデンスに基づいて分析しようとしているのか。 ○：公表されている受療率などは、実態はそれよりも低いという現状もあり、現在の患者数に合わせ、複数のパターンを想定して検討する。推計と果たすべき役割によって規模を決定していく。
--	--	---